

事務事業名称	文化観光協会補助事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	文化観光協会活動補助金			サンセット	2021(R3)年度	～	2022(R4)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方文化観光協会					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源確保について、自立経営の促進に取り組んでいるものの、なお経済支援が必要である。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながっている。						
事業概要	枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。				アウトプット (活動結果)	枚方文化観光協会の経営状況が安定し、活発に事業実施される。				インプット (活動)	枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。			
	指標説明	枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				枚方文化観光協会による事業実施件数				補助金交付件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	75	75	75		15	15	15		1	1	1			
	実績	98	94	95		12	15	18		1	1	1			
達成度	127%				120%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	80	79	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	80	79	2,344		
	物件費計	13,344	13,365	13,141	13,400	98.1%
歳出計		13,424	13,444	15,485		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		13,344	13,365	13,141	13,400	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方文化観光協会の事業が円滑に実施され、指標としては各項目で目標値を上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	令和4年度末をもって活動補助金としては廃止するが、観光協会については、歴史や文化・伝承といった本市観光施策の「礎」となる地域資源の保存や継承・活用に根差した事業展開を求めため、市として必要な委託や事業補助を行う。

事務事業名称	枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	まちづくり協議会補助金		サンセット	2022(R4)年度	～ 2024(R6)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方宿地区まちづくり協議会			
	サブターゲット	枚方宿地区の賑わいづくりや景観保全等のまちづくりに協力できる枚方宿地区内の地域住民			
	ターゲットが抱える課題	歴史を生かした町並みの景観形成の促進と地域の活性に繋がる賑わいづくりに向けた活動にあたり、行政による支援を必要としている			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史的な町並みが保たれているとともに、平日も観光客で賑わいを見せている。また、市民・商業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなっている状態。				
事業概要	歴史的な景観の保全整備には、市民の協力が不可欠であるとともに、地域の活性化にとっても、市との連携によるまちづくり活動が必要である。このため、地元自治会や商店会、関係団体により組織されたまちづくり協議会の活動を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																				
	平日も観光客で賑わいを見せており、市民・商業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなる。	まちづくり協議会がイベント等を実施する。	まちづくり協議会補助金の交付により、枚方宿地区まちづくり協議会の活動を支援する。																				
指標設定	指標説明	イベント件数	会議回数																				
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																				
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>80,000</td> </tr> </table>	単位	人	R2	80,000	R3	80,000	R4	80,000	R5	80,000	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>12</td> </tr> </table>	単位	件	R2	12	R3	12	R4	12	R5	12
	単位	人																					
R2	80,000																						
R3	80,000																						
R4	80,000																						
R5	80,000																						
単位	件																						
R2	12																						
R3	12																						
R4	12																						
R5	12																						
達成度	63%	100%	157%																				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.12
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,988	3,143	2,344		
	会計年度任用職員	27	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,015	3,143	2,344		
	物件費計	786	831	789	1,000	78.9%
	歳出計	4,801	3,974	3,133		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	786	831	789	1,000	

5. 総括的分析

総括的分析	協議会活動が円滑に行われたことからインプット指標(会議回数)については目標値を大きく上回る結果となった。新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、通年くらわんか五六市を開催できるよう務めことでアウトプット指標についても目標値を達成した。アウトカム指標(イベント来場者)は、令和2年度、3年度の数値を上回る回復基調であるものの、コロナ禍前の人出には至らず目標値を下回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、枚方宿まちづくり協議会と連携・協力して取り組む。

事務事業名称	枚方フェスティバル協議会支援事業(補)										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1976(S51)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	枚方フェスティバル協議会主催事業等実施補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の様々なイベントに参加したい人や参加したことのない人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内外の方が興味のある市内のイベントが少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	フェスティバル協議会が支援する枚方まつりや各種イベント等を通じて、枚方の魅力が広く発信され、市内外から多くの方が訪れ賑わいを見せている。また、こうしたイベントが市民の郷土愛の醸成に繋がっている状態。				
事業概要	枚方まつりの実施・各種イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に補助金を交付し、各イベントを支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民の郷土愛の醸成に繋がる。				アウトプット (活動結果)	枚方まつりや各種イベント等が開催され、市内外から多くの方が訪れる。				インプット (活動)	枚方フェスティバル協議会に参画している団体が主催するイベントを支援する。			
	指標説明	枚方に愛着を抱いている市民の割合 【算出式:アンケートで枚方市に愛着を感じると答えた人数/アン				来場者数				イベント件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	90	90	90	90	140,000	140,000	140,000	140,000	11	11	11	11		
	実績	0	97	96		8,500	9,900	8,900		4	5	5			
達成度	107%				6%				45%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,734		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,734		
	物件費計	1,458	5,205	270	5,500	4.9%
	歳出計	3,851	7,562	3,004		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,458	5,205	270	5,500	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止されたイベントが多く、インプット指標（イベント件数）及びアウトプット指標（来場者数）において、目標値を下回る結果となった。アウトカム指標（郷土愛）については令和3年度に続き、目標値を上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、同協議会への効果的な支援を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 202

事務事業名称	市の花「菊」発信事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方市宿街道菊花祭補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	ひらかた菊フェスティバルを知らない市民。枚方市の花が「菊」であることを知らない市民					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	ひらかた菊フェスティバルや市の花が「菊」である事を知る機会がない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「ひらかた菊フェスティバル」に市内外から多くの来場客が来る。また、市民が市の花が「菊」であることを認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている状態。						
事業概要	「ひらかた菊花展」への参画及び「枚方市宿街道菊花祭」、「市民菊人形展」への支援、「ひらかた菊フェスティバル関連イベント」の企画団体募集を行うとともに、市の花「菊」の総合的な発信を図るため、これらのイベントを総称した「ひらかた菊フェスティバル」として開催する。 また、同フェスティバルに「ひらかたパーク」が実施する菊人形の展示等も合わせ、チラシ・ポスターを作成するとともに、広報ひらかた・市ホームページ、SNS等でイベント情報を掲載するなど、各イベントの発信を行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市の花「菊」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				「菊フェスティバル」が開催される。				市の花「菊」発信事業を実施する。			
指標設定	指標説明	市の花「菊」の認知度 【算出式:「市の花が菊であることを知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				来場者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	45,000	45,000	45,000	45,000	1	1	1	1
実績	0	80	92		25,000	28,468	13,756		1	1	1		
達成度	115%				31%				100%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	781		
	物件費計	238	139	242	280	86.4%
	歳出計	3,428	3,282	1,023		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	238	139	242	280	

5. 総括的分析

総括的分析	事業を円滑に実施することができ、インプット指標（イベント件数）は目標値を達成した。アウトプット指標（来場者数）は菊フェスティバルを構成する菊花展、街道菊花祭等の来場者数が軒並み減少しており、目標値を下回る結果となった。アウトカム指標（認知度）については令和3年度のイベント来場者アンケートから令和4年度はスマホアンケートに切り換え母数も大きく増えた中で、市の花「菊」としての認知度も高かったため、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。

事務事業名称	菊人形支援事業(補)										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	菊人形事業実施補助金			サンセット	2023(R5)年度 ~ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	菊人形の文化を知らない市民または市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	菊人形の文化を知る機会がない。菊人形を見たことがない。展示時期や場所を知らない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識され、また、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、多くの来場客で賑わっている状態。				
事業概要	菊人形に関する文化の普及を図るため、菊人形を制作し、発信するひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識される。				アウトプット (活動結果)	「市民菊人形展」が開催される。				インプット (活動)	ひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。											
	指標説明	菊人形文化の認知度 【算出式:「菊人形文化を知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				来場者数(菊花展含む)				展示回数													
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標													
	指標数値	目標 (見込み)	実績	達成度		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5						
		60	0			60	84.50	97		3,000	17,000	16,500	20,344	16,500	11,208	16,500	4	7	4	3	4		
				162%																			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	781		
	物件費計	1,159	1,128	1,978	2,197	90.0%
	歳出計	4,349	4,271	2,759		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,159	1,128	1,978	2,197	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、展示回数が減少したほか、来場者についても減少し、インプット指標（展示回数）及びアウトプット指標（来場者数）について目標値を下回る結果となった。アウトカム指標については令和3年度のイベント来場者アンケートから令和4年度はスマホアンケートに切り換え母数も大きく増えた中で、市の花「菊」としての認知度も高かったため、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ひらかた市民菊人形の会について、会員の固定化や高齢化の解消に向け、令和5年度より新体制でスタートし、活動内容の発信や新規会員の獲得に向けた会報誌の発刊などに取り組んでいる。当課として、引き続き、同会の支援を通じて、めざす姿、あるべき姿の実現に向け取り組む。

事務事業名称	にぎわい空間創出事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち									
	実行計画名	18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	集客力のあるイベントを主催できる団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	イベントを行うには、会場の確保や周知、備品の用意等が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な団体が本事業を通じて、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催し、多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				
事業概要	市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				アウトプット (活動結果)	様々な団体が、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催する。				インプット (活動)	新規を含めた主催団体の募集及びニッペパーク岡東中央でのイベント開催において、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う			
	指標説明	来場者数				イベント開催回数				新規団体数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	5,800	6,100	6,400	6,700	8	9	10	11	2	2	2	2		
	実績	4,109	8,593	11,658		3	5	15		3	4	3			
	達成度	182%				150%				150%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	27	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,420	2,357	2,344		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	2,420	2,357	2,344			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	屋外イベントの規制が緩和・解除されたことや、にぎわい空間創出事業について認知されてきたことで、いずれの指標についても、目標値を上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業周知に努めるとともに、公園の一般利用者及びイベント参加者の双方が安全安心に利用できるよう制度内容の改善・充実を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 516

事務事業名称	文化観光協会負担金交付事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方文化観光協会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源が確保について、さらなる自立経営を促進していくことが求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施している。				
事業概要	枚方文化観光協会の業務を実施するため負担金を交付。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。	枚方文化観光協会の経営状況が安定する。				枚方文化観光協会の円滑な運営のための負担金を交付する。							
指標設定	指標説明	枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				連結会計における自己資本比率【算出式:正味財産/総資産×100】				負担金が受取会費収入全体に占める割合【算出式:負担金交付額/受取会費収入全体×100】			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	単位	%	単位	%	単位	%	単位	%	単位	%	単位	%
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	101,000	75	75	75	85	86	88	90	42	40	40	40
達成度	127%				99%				88%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	80	79	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	80	79	2,344		
	物件費計	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%
	歳出計	3,080	3,079	5,344		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	3,000	3,000	3,000	3,000	

5. 総括的分析

総括的分析	事業者等からの会費収入割合が増加しておらず、インプット指標（負担金割合）は目標値を下回る結果となった。アウトプット指標については、安定した経営状況が実現できており、ほぼ目標値を達成する結果となった。参加者のニーズをとらえた事業実施によりアウトカム指標については、令和3年度に続き、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け事業に取り組む。活動補助金については、令和4年度末をもって廃止し、必要に応じて委託及び事業補助に切り換えを行っており、当負担金についても適正な執行規模について検討を行う。

事務事業名称	友好・交流都市物産展開催事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち									
	実行計画名	18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない市民。			
	サブターゲット	友好・交流都市物産展の開催を知らない市内外の方。			
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない。			
	ターゲットが抱える課題	友好・交流都市物産展の開催を知らない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	友好・交流都市物産展開催が、市内外からの多数の来場者でにぎわう。また、本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加し、市民間交流のきっかけとなる。				
事業概要	都市交流事業の一環として、毎年11月に友好都市(四万十市、別海町、名護市)や市民交流都市(伊達市、天川村、波佐見町)・旧友好都市で現在も地域間交流を継続している高松市(旧塩江町)及び枚方市の名産品を集めた物産展を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民に本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加する。				アウトプット (活動結果)	友好・交流都市物産展開催の幅広い情報発信により、市内外からの多数の来場者でにぎわう。				インプット (活動)	友好・交流都市物産展を開催する。			
	指標説明	本市の友好・交流都市の認知度 【算出式:スマホアンケートにて認知していると回答した人数/アンケート回答者数×100】				友好・交流都市物産展の来場者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNS、チラシ配布による情報発信の数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	%	単位	人	単位	回	単位	回	単位	回	単位	回		
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	40	42	44	46	7,350	7,733	8,116	8,500	5	10	15	20		
達成度	0	21	55		0	2,665	4,996		1	8	10				
	125%				62%				67%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,196	3,143	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,196	3,143	2,344		
物件費計	0	48	0	0		
歳出計	1,196	3,191	2,344			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	48	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>インプット指標については、各種情報発信を行ったが、目標値を下回る結果となった。アウトプット指標については、新型コロナウイルス感染症の影響や各市物産の飲食を伴う人気コンテンツ商品の販売が実現できなかったことなどから目標値を下回る結果となった。アウトカム指標については、令和3年度のイベント来場者アンケートから令和4年度はスマホアンケートに切り換え母数も大きく増えたため目標値を上回る結果となった。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	めざす姿、あるべき姿の実現に向け、開催日の変更や内容の充実、当日のレイアウト・周知の工夫など、令和4年度の改善点を踏まえ、引き続き、事業に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 531

事務事業名称	歴史的景観保全事業(観光交流課)										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方宿を訪れた市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	案内看板等が破損している場合、枚方宿を訪れた際の観光情報が分かりにくい ため、十分に楽しむことができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方宿を訪れた方に観光の情報が目に届くよう、適正に維持管理された案内看板や石碑がある状態。				
事業概要	歴史文化を残す本市の枚方宿歴史的景観保全地区において、歴史的案内板・石碑等を設置・寄贈を受け維持管理する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						歴史的案内板・石碑等が適正に維持管理されている。				歴史的案内板・石碑等の点検を実施する。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				点検回数				
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100以内	100以内	100以内	100以内	12	12	12	12
	達成度									8%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	156		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	156		
	物件費計	0	0	0	1	0.0%
	歳出計	1,595	1,571	156		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	1	

5. 総括的分析

総括的分析	定期的に点検する業務構築ができておらずインプット指標(点検回数)については目標を大きく下回る結果となった。予算執行を伴う修繕等がなかったことから、アウトプット指標(執行率)については目標値を下回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。また、枚方宿地区の歴史的案内板・石碑等に関わらず、枚方宿地区以外の案内板等についても、適正な維持管理が必要であることから、他の案内板等と合わせた維持管理を行う。

事務事業名称	観光まちづくり推進事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市を観光(アクティビティ)目的で訪問したことがない人			
	サブターゲット	アクティビティを目的とする市内の市民			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光(アクティビティ)に関する情報を得られていない。			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に魅力を感じていない(観光コンテンツ不足)。観光できるまちという認識がない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民間団体が菊人形や淀川河川敷など、本市観光資源を活用した地域経済の活性化につながるイベント等の情報発信と実施を行うとともに、枚方市駅周辺を起点に賑わい・交流が生まれ、本市の交流人口の増加及び地域経済が活性化された状態。 また、枚方版観光地域づくり法人(DMO)が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものの実現に寄与するため、事業を円滑に実施できることで、観光事業の振興が図られ、経済の発展につながっている。				
事業概要	<p>①観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を行う。 1. 観光情報の継続的な発信、2. 観光コンテンツの開発</p> <p>②本市観光の歴史において、ひらかたパークの菊人形展などの民間観光資源により、多くの観光客でにぎわった時期があったことをふまえ、ひらかたパークと新たに連携し、事業を展開していく。菊・七夕・イルミネーションをキーワードに、パーク園外での菊人形展の開催、名産品の開発、七夕イベントの開催など、面で捉えた新たな観光施策が民間の活力・連携により展開されるよう、取り組みを進めていく。</p> <p>③国土交通省が推進する「ミズベリング事業」の実施を検討するにあたり、計画段階から参画し、同事務所と協働でプラットフォームを構築し、社会実験としてプレイベント等の企画・立案及び実施・検証に取り組む。その後、令和6年度から本格実施の母体となる連絡協議会を設置し、年間を通じて河川空間における民間事業者主導による賑わい創出事業の運営を目指す。</p> <p>④幼児療育園跡地を賑わい施設として整備するため、市が建物を除却し土地のみを貸し付け、建設・運営を民間が担い、普通財産の賃料算定に基づく土地賃料を市の収入として得る民設民営を目指す。</p> <p>⑤市が依頼する観光ステーションの管理運営、観光資源に関する情報発信、市内産業及び友好都市・市民交流と市の紹介等を行う。</p> <p>⑥宿場町としての景観を整備し、歴史的価値を高める。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信する。				観光振興に向けて観光におけるニーズを定量的に把握するため、基礎データの収集及び分析、観光における情報発信を行う。			
指標設定	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				観光関連SNS(文化観光協会SNS・ひらいろSNS)フォロワー数				ウェブサイト(市HP・文化観光協会HP)及びSNS(市SNS・文化観光協会SNS・ひらいろSNS)による観光関連情報発信の数			
		単位 人				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	1,000	4,500	5,500	6,500	100	300	350
	実績	101,910	84,452	81,003		28,603	4,072	4,642		257	691	605	
	達成度	79%				84%				173%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				イベントに市民等が参加する。				菊・七夕に係る連携事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				イベント参加人数				連携イベント件数			
		単位		人		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	54,000	54,000	-	-	2	2
	実績	101,910	84,452	81,003		-	-	1,942		-	-	2	
	達成度	79%				4%				100%			
ロジックモデル③		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				民間団体が、淀川河川で数多くのイベントを開催する。				令和4・5年はプレイベントとして、令和6年以降は民間事業者主導によるイベントを開催するにあたり、各年のイベント参画・実施業者を勧誘する。			
指標設定③	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				イベント開催回数				イベントに参加する団体数			
		単位		人		単位		回		単位		団体	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	5	10	-	-	5	10
	実績	101,910	84,452	81,003		-	-	4		-	-	7	
	達成度	79%				80%				140%			
ロジックモデル④		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				事業者が、幼児療育園跡地に賑わい施設を建設				事業者に民設民営の可能性についてサウンディングを実施した上で公募条件を定め、事業者を公募する			
指標設定④	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				事業者が建てた施設件数				公募回数			
		単位		人		単位		軒		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	1	-	-	1	-
	実績	101,910	84,452	81,003		-	-	-		-	-	0	
	達成度	79%				0%				0%			
ロジックモデル⑤		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				枚方版観光地域づくり法人(DMO)が活発に事業が実施される。				枚方版観光地域づくり法人(DMO)の円滑な運営のための補助金を交付する。			
指標設定⑤	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				枚方版観光地域づくり法人(DMO)による事業実施件数				補助金交付件数			
		単位		人		単位		回		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	5	-	-	-	1
	実績	101,910	84,452	81,003		-	-	-		-	-	-	
	達成度	79%											

ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				観光客など周遊人口を増加させる。				街道に誘導する仕組みを導入する等、枚方宿への回遊を生み出す。			
指標設定⑥	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				特定地点・特定時間の人流数の増加率				誘導を促進させるハード・ソフトの導入数			
		単位		人		単位		%		単位		事業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	5	-	-	-	1
	実績	101,910	84,452	81,003		-	-	-		-	-	-	
	達成度	79%											

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	12,109		
	会計年度任用職員	0	0	422		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	12,531		
	物件費計	4,066	34,334	3,284	3,411	96.3%
	歳出計	7,256	37,477	15,815		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	28	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	28	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	4,066	34,334	3,256	3,411	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>情報発信：市SNS活用やひらかたのSNS発信強化等により、インプット指標(情報発信数)は大きく目標値を上回る結果となったがアウトプット(活動結果)指標については令和3年度から増加傾向にあるものの、目標値を下回る結果となった。</p> <p>七夕・菊：ひらかたパークの協力を得てインプット指標(イベント件数)は目標値を達成した。総合文化芸術センターを会場に新たなコンセプトの菊人形展が開催されたが、アウトプット(活動結果)指標(参加者数)は目標値を下回る結果となった。</p> <p>河川公園イベント：事業者と活性化に向けたビジョンを共有できたことで、インプット指標(参加事業者数)は目標値を上回る結果となった。1回のイベントで複数日開催し延べ9日の開催が実現できたがアウトプット指標(開催数)は目標値を下回る結果となった。</p> <p>療育園：公募型サウンディング調査を行うなどの検討を進めたが、公募には至らずインプット指標(公募回数)の目標値を下回る結果となった。</p> <p>共通のアウトカム指標(乗降客数)については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にあった令和3年11月の実績であるため、目標値を下回る結果となった。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。

事務事業名称	「七夕」発信事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない。知る機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市民が認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、「七夕」をキーワードに地域の団体や商業者によるイベントや事業が広く展開され、賑わいを見せている状態。				
事業概要	「七夕」に関するイベント開催や情報発信等を通年展開する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕ジャンボ笹飾り)を実施する。			
指標設定	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位 %				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	60	60	9,000	9,000	9,000	9,000	1	1	1	1
	実績	0	86	88		0	600	423		0	1	1	
	達成度	147%				5%				100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕出前講座)を実施する。			
指標設定②	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	300	300	300	300	10	10	10	10
	実績	0	86	88		0	0	0		0	0	0	
	達成度	147%				0%				0%			
ロジックモデル③		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕婚活イベント)を実施する。			
指標設定③	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	40	40	40	40	1	1	1	1
	実績	0	86	88		0	24	53		0	1	2	
	達成度	147%				133%				200%			
ロジックモデル④		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(冬の「七夕」イベント)を実施する。			
指標設定④	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	50	50	60	60	3,000	3,000	3,000	3,000	1	1	1	1
	実績	0	86	88		0	0	0		0	0	0	
	達成度	147%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,988	3,929	1,562		
	会計年度任用職員	27	0	106		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,015	3,929	1,668		
物件費計	0	0	234	830	28.2%	
歳出計	4,015	3,929	1,902			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	234	830		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>イベント:円滑に事業実施できたことでインプット指標(イベント件数)については目標値を達成したが、コンテンツ不足からアウトプット指標(参加者数)については目標値を大きく下回る結果となった。</p> <p>婚活:実行委員会の積極的な活動によりインプット指標(件数)が目標値を上回る結果となり、アウトプット指標(参加者数)についても目標値を大きく上回る結果となった。</p> <p>共通するアウトカム指標(認知度)については令和3年度のイベント来場者アンケートから令和4年度はスマホアンケートに切り換え母数も大きく増えたため、令和3年度と同様に目標値を大きく上回る結果となった。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 534

事務事業名称	淀川舟運推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	淀川舟運整備推進協議会規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市を訪れる観光客			
	サブターゲット	淀川舟運及び枚方船着場について知らない市民			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光コンテンツが少ない			
	ターゲットが抱える課題	淀川舟運及び枚方船着場について知らない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が淀川舟運について知識を深め誇りを持つとともに、舟運イベントが、より多くの観光客(インバウンド含む)を訪れる観光コンテンツとなる。				
事業概要	淀川舟運整備推進協議会の幹事会、総会、勉強会を年に各1回開催する。 淀川舟運整備推進協議会として、国土交通省近畿地方整備局へ要望活動を行う。 舟運イベントについては、舟運事業者が行う春・秋の運航のPR活動を支援している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民が淀川舟運について認識し誇りを持つ。	舟運事業者が運航する舟運イベントに多数の人が参加する。				舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数				舟運事業でのPR活動を支援する。		
指標説明	舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者のうち「価格に見合った価値がある」と答えた割合 【算出式: アンケートにて「価格に見合った価値がある」と回答した人数 / アンケート回答者数 × 100】				舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNSによる情報発信の数			
	単位	%			単位	人			単位	回		
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	91	92	93	94	2,600	2,780	2,970	3,150	11	15	20
実績	93	81	90		541	652	1,187		5	11	7	
達成度	97%				40%				35%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,791	2,750	5,078		
	会計年度任用職員	0	0	106		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,791	2,750	5,184		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	2,791	2,750	5,184			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	イベント開催毎に各種情報発信を行ったがインプット指標(情報発信数)については目標値を下回る結果となった。舟運事業の運航については、天気や河川水深に左右されることが多く、船舶の変更や運航取りやめが発生したことから、アウトプット指標(参加者数)については目標値を大きく下回る結果となった。参加者の満足度は高いものの、アウトカム指標(価格満足度)については目標値をわずかに下回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向けて舟運事業者をはじめ、国、府、沿川自治体等と連携しながら取り組む。

事務事業名称	国内友好都市等交流促進事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都について知らない市民			
	サブターゲット	国内友好都市及び市民交流都市の市民等			
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市の文化等に対する理解が乏しい。			
	ターゲットが抱える課題	本市の文化等に対する理解が乏しい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題への気づきにつなげる。本市の魅力他自治体に発信し、本市を訪れるきっかけを作る。				
事業概要	枚方市・別海町少年少女ふれあいの翼により、隔年で相互に中学生が訪問し交流。別海町が実施する酪農青年と独身女性との交流事業「菊と緑の会」への協力。「別海町産業祭」への出店。名護市で開催される「やんばる産業まつり」への出店や「名護さくらまつり」への出席。その他、国内友好都市との各種周年事業の開催など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題の再認識につながる。				アウトプット (活動結果)	国内友好都市等交流促進事業に多数の人が参加する。				インプット (活動)	国内友好都市等交流促進事業を実施する。			
	指標説明	交流事業に「満足した」と答えた参加者数の割合(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く) 【算出式:アンケートにて「満足した」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				交流事業の参加者数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)				交流事業の数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	15	15	15	15	2	3	3	3		
	実績	0	100	92		0	8	15		0	1	1			
達成度	115%				100%				33%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	3,515		
	会計年度任用職員	0	0	211		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	3,726		
	物件費計	160	579	2,282	3,353	68.1%
	歳出計	3,350	3,722	6,008		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	160	579	2,282	3,353	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>3年ぶりに別海町少年少女ふれあいの翼の対面交流が実現したほか、行政及び観光協会職員による交流は実施したが市民交流の機会創出はできておらずインプット指標（交流事業数）の目標値を下回る結果となった。ふれあいの翼については一定の参加者数がありアウトプット指標（参加者数）は目標値を達成できた。参加者自体の満足度は高くアウトカム指標は目標を大きく上回る結果となった。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>令和4年度開催の友好都市サミットにおいて、「友好都市間の連携を一步前へ」をテーマに意見交換を実施したことを踏まえ、産業間連携による特産品開発など新たな交流・連携に取り組み。引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現を目指す。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 536

事務事業名称	市の花「桜」発信事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の花が「桜」であることを知らない市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	いつどんな経緯で市の花「桜」となったか知らない。市の花が「桜」である事を知る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市の花「桜」の認知度が上がり、そのことが市民の郷土愛の醸成に繋がっていると、市内の桜スポットが市民で賑わっている状態。				
事業概要	本市の花「桜」を市内外へ効果的・効率的に発信するため、市の花「桜」発信事業を実施。市内の桜を撮影し、写真共有アプリ等で投稿してもらい「枚方市桜フォトキャンペーン」を実施するとともに、桜に関するイベントや市内にある桜の名所14か所の開花情報を市ホームページなどで発信する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市の花「桜」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				桜フォトキャンペーンに多くの方が参加される。				桜フォトキャンペーンが実施される。			
指標設定	指標説明	市の花「桜」の認知度 【算出式:「市の花が桜であることを知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				桜フォトキャンペーンの参加者数				桜フォトキャンペーンの実施回数			
		単位		%	単位		件	単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	60	65	70	75	200	300	400	500	1	1	1	1
達成度	27%				41%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.21
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,914	1,886	78		
	会計年度任用職員	27	0	444		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,941	1,886	522		
	物件費計	26	204	165	285	57.9%
	歳出計	1,967	2,090	687		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	26	204	165	285	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>インプット指標（実施回数）については目標値を達成したが、キャンペーン実施手法であるインスタグラムの運用が効果的にできておらず、アウトプット指標（参加者数）は年々減少し、目標値を大きく下回る結果となった。アウトカム指標（認知度）については令和3年度のイベント来場者アンケートから令和4年度はスマホアンケートに切り換え母数も大きく増えた中で、令和3年度実績よりもさらに数値が悪化し、大きく目標値を下回る結果となった。参考：市の花「菊」の認知度92%。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	現在の取り組み内容について見直し、めざす姿、あるべき姿の実現に向けた効果的な情報発信や市民参加型の事業内容について検討する。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 538

事務事業名称	市民サービスセンター管理運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1994(H6)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	市民ふれあいセンター管理規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民サービスセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	維持管理が適切になされないと、市民サービスセンターを快適に利用することが出来ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民サービスセンターが、適切な維持管理により、快適に利用することが出来る状態。				
事業概要	市民サービスセンターは、枚方市駅高架化に伴う公共スペースとして、京阪流通システムズより無償で提供を受けているが、施設の維持管理経費として、共益費・設備保安委託料・電気料金・水道料金を京阪流通システムズに支出している。この他、空調機器の修繕などを実施。 なお、清掃については平成30年度から入札による委託で行っている。 対象面積:630.76㎡				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			市民サービスセンターが適切に維持管理される。				設備点検を実施する。				
指標設定	指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				設備点検の件数				
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		70	70	70	70	11	11	11	11
	達成度		0	0	0		11	11	7		
			200%				64%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,196	1,179	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,196	1,179	781		
物件費計	14,762	14,570	41,146	48,520	84.8%	
歳出計	15,958	15,749	41,927			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	14,762	14,570	41,146	48,520		

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市駅市民サービスセンターは、京阪高架下リニューアル工事に伴い令和4年10月に閉鎖となった。そのためインプット指標である設備点検の件数については、減少する結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	枚方市駅市民サービスセンターが廃止されたため、管理運営事業についても「廃止」となる。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 539

事務事業名称	枚方市駅観光拠点事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ひらかた観光ステーションを知らない観光客			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ひらかた観光ステーションを知らないため、必要な観光情報を得られない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得て本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。				
事業概要	<p>ひらかた観光ステーションを観光拠点として位置づけ、市民や観光客へ幅広いサービスを提供する。</p> <p>(1) 市政や文化情報、観光案内業務(市内の観光資源に関する情報)、その他多様な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションにて、電話・窓口対応・施設全体の案内 ・観光パンフレット等による紹介案内 ・所内と入口に設置のディスプレイモニターによる情報発信 <p>(2) 市及び友好都市・市民交流都市の紹介、物産販売等</p> <p>(3) その他必要な事項</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。	観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得る。	ひらかた観光ステーションを運営する。										
指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の1日当たり乗降客数	ひらかた観光ステーション来場者数				一年度当たりの開業日数							
	単位	人	単位	人	単位	日							
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標 (見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	52,000	53,000	54,000	55,000	358	358	358	358
	実績	101,910	84,452	81,003		24,528	28,043	19,764		228	303	199	
達成度	79%				37%				56%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	781		
	物件費計	8,979	8,278	6,874	8,482	81.0%
歳出計		10,574	9,849	7,655		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		8,979	8,278	6,874	8,482	

5. 総括的分析

総括的分析	ひらかた観光ステーションは、京阪高架下リニューアル工事に伴い令和4年10月に閉鎖となった。そのため、アウトプット(来場者数)・インプット(開業日数)ともに減少する結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	ひらかた観光ステーションに代わる施設として、令和6年度前期に「新たな観光情報発信拠点」開設の準備を進めている。拠点運営にあたっては、より事務事業の実績を反映するロジックモデル及び指標について検討を行う。

事務事業名称	国際交流推進事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	国際化施策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3(2021)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国際交流に関心がある市民			
	サブターゲット	外国人市民			
	ターゲットが抱える課題	外国語の学習、外国人との交流の機会が得られにくい。			
	ターゲットが抱える課題	日本語の学習環境や、通訳派遣などの生活全般のサポート体制が少なく不安。言語の不自由さにより、仕事、医療や各種社会保険制度の利用、出産や子育て、子どもの教育など、日本での生活に支障がでる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市との交流推進ができている状態 国際化社会に対応できる人材の育成ができている状態				
事業概要	国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。 1. 市民の国際交流活動の支援・促進業務 ・日本語ボランティア養成講座・ステップアップ講座 ・通訳・翻訳サポーター 2. 海外友好都市交流業務 ・上海市長寧区との市民訪問団の派遣及び受入 ・ローガン市との中学生友好交流訪問団派遣・チゾム・カソリック・カレッジ生受け入れ ・韓国霊岩郡との友好交流 3. 国際理解推進業務 ・国際理解に関する講座等 4. 在住外国人交流業務 ・日本語教室 ・外国人のための1日相談会				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の人が講座に参加する。				日本語ボランティアステップアップ講座、日本語ボランティア養成講座等を開催する。			
指標設定	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				講座への延べ参加人数				講座等の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	80	80	80	-	13	13	13
実績	-	97	89		-	91	45		-	13	11		
達成度	111%				56%				85%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				通訳・翻訳サポーターに依頼する。				通訳・翻訳サポーターを登録する。			
指標設定②	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				通訳・翻訳の依頼件数				通訳・翻訳サポーターの人数			
		単位		%		単位		件		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	132	132	132	-	27	27	27
	実績	-	97	89		-	162	88		-	27	27	
達成度	111%				67%				100%				
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				市民訪問団や中学生などが各事業に参加する。				海外友好都市との交流事業(派遣・受け入れ)を実施する。			
指標設定③	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				市民対象の友好都市関連事業の参加者数 ・ローガン市中学生友好交流参加者 ・長寧区市民訪問団参加者 ※隔年開催事業				交流事業の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	20	16	20	-	3	3	3
	実績	-	97	89		-	0	0		-	0	2	
達成度	111%				0%				67%				
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の人々が教室・講座等に参加する。				国際理解に関する教室・講座等を開催する。			
指標設定④	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				各教室・講座等への参加人数				教室・講座等の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	70	70	70	-	3	3	3
	実績	-	97	89		-	47	36		-	3	3	
達成度	111%				51%				100%				
ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				活動団体による日本語教室が開催され、外国人市民とボランティアが交流する。				日本語教室の活動団体へ活動場所の提供を行う。			
指標設定⑤	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				外国人市民とボランティアの人数				活動場所等の支援回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	200	200	200	-	1	1	1
	実績	-	97	89		-	137	120		-	1	1	
達成度	111%				60%				100%				

ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の外国人が各相談会等に参加する。				外国人を対象とした相談会等を開催する。			
指標設定 ⑥	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】				各相談会等への参加人数				相談会等の開催回数			
		単位		%	単位		人	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	7	7	7	-	1	1	1
	実績	-	97	89	-	4	4		-	1	1		
	達成度	111%				57%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.29
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.78
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	3,143	2,265		
	会計年度任用職員	-	1,979	1,647		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	5,122	3,912		
	物件費計	-	1,345	2,161	3,438	62.9%
	歳出計	-	6,467	6,073		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	295	188	238	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	295	188	238	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	-	1,050	1,973	3,200	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>日本語:講座回数の見直しがあり、インプット指標(回数)は目標値を下回る結果となった。アウトプット指標(参加者数)についても令和3年度と同様の周知は行ったものの、大きく減少し目標値を下回る結果となった。</p> <p>翻訳:サポーター登録者数の減少がなかったことからインプット指標(人数)は達成したものの、年間を通じて依頼件数が減少したことでアウトプット指標(件数)は目標値を大きく下回る結果となった。</p> <p>交流:霊岩郡との行政関係者等による交流は復活したものの、新型コロナウイルス感染症の影響から市民交流事業の企画・実施には至らず、インプット指標(回数)及びアウトプット指標(市民参加者)については目標値を大きく下回る結果となった。</p> <p>講座:インプット指標(回数)は目標値を達成したものの、アウトプット指標(参加者数)は低調に推移しており、目標値を大きく下回る結果となった。</p> <p>団体:インプット指標(支援)は目標値を達成したが、受講生が減少傾向にあることでアウトプット指標(人数)は大きく目標を下回る結果となった。</p> <p>相談:インプット指標(回数)は目標値を達成したが、必要な人に情報が届いていないことからアウトプット指標(参加者数)については目標値を下回る結果となった。</p> <p>共通するアウトカム指標(理解度)については講座内容が適切なことから目標値は達成した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	各取り組みについて、課題整理をするとともに、全庁的な国際化の取り組みの状況把握に努め、目指す姿、あるべき姿の実現に向け、効果的な事業推進のあり方を検討する。

事務事業名称	「マルシェ・ひらかた」開催事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の農業・商工業の事業者			
	サブターゲット	市民・市外の人			
	ターゲットが抱える課題	事業者間で連携するための情報・きっかけが少ない。			
	ターゲットが抱える課題	市内産業の魅力を知らない			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農業・商工業等各分野間の連携を通じて、枚方特産品の普及やコラボレーション事業が展開されている。それにより市内産業を市内外に発信することができ、魅力が認知されている状態。				
事業概要	市内の商業、工業、農業、観光の団体と連携したまちなか市「マルシェ・ひらかた」を枚方市駅周辺で開催する。また、参加事業者の異業種間交流による新たな枚方産品の創出の可能性を探る。事業の実施主体である「マルシェ・ひらかた実行委員会」(構成団体/枚方市商業連盟、枚方市農業研究会、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方文化観光協会、枚方市)のもとで、市内の農業・商工業等の各関係者等から構成されるチームが中心となり、各分野間の連携を通じて枚方特産品の開発事業やコラボレーション事業を展開する。そこで展開されたものを展示会やイベント等で周知・プロモーションを行うことで、市内産業の魅力を広く市内外へ発信するとともに、枚方特産品により本市の産業の活性化を図る。負担金として、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方市が支出。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市内産業の魅力が広く市内外に発信され、産業が活性化される。				アウトプット (活動結果)	展開された事業について、展示会やイベントなどにおいて周知・プロモーションを行うことができる。				インプット (活動)	枚方特産品の開発や連携事業を展開する。			
	指標説明	継続して販売(商品化)している特産品の件数				出展する展示会またはイベント数				枚方特産品の開発数または連携事業数(累積)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	3	1	3	6	6,000	1	2	3	1	1	2	3		
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0			
達成度	0%				0%				0%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,988	786	78		
	会計年度任用職員	27	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,015	786	78		
	物件費計	0	0	0	300	0.0%
	歳出計	4,015	786	78		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	300	

5. 総括的分析

総括的分析	特産品開発においては、熱意を持ったキーマン、特産品開発のストーリーを含めたプロモーションノウハウ、継続的な販路確保等の困難な課題があったため、当事業による取り組みは実施できなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	別途、観光まちづくり推進事業において、特産品開発を民間事業者の参画の下、推進していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 563

事務事業名称	観光開発・発信事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市や、枚方市・交野市共通の地域資源があることを知らない人／沿川の地域資源を活用したいと考えている市内事業者や個人等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本市における魅力的な名物が少なく、開発するにあたっての体制が確立されていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化している。				
事業概要	本市には、枚方八景をはじめ様々な地域資源があり、中には天野川など交野市と共通の資源が存在する。平成27年度には「天の川ツーリズム」として、交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携して両市をPRする取り組みを行ってきた。同時に「ふるさと名物応援宣言」を共同で行うなどの取り組みを行った。さらに両市の魅力の発信だけでなく、両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品の開発にも取り組む。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化する。				両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品が開発される。				負担金を交付する。			
指標設定	指標説明	枚方市独自、あるいは両市の名物や観光資源の認知度 【算出式:スマホアンケートにて「枚方市独自あるいは枚方・交野両市の名物や観光資源について知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				新商品開発件数				負担金交付件数			
		単位	%			単位	件			単位	件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	50	50	1	1	1	1	1	1	1	1
	実績	0	67.10	0		1	0	0		1	1	1	
	達成度	0%				0%				100%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	4,714	1,172		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	4,714	1,172		
	物件費計	1,000	1,000	1,000	1,000	100.0%
	歳出計	1,595	5,714	2,172		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,000	1,000	1,000	1,000	

5. 総括的分析

総括的分析	負担金を交付したことからインプット指標（交付）については目標値を達成したものの、新たな地域資源の開発には至らずアウトプット指標（開発件数）については目標値を下回る結果となった。令和4年度中に同協議会内において、協議会を解散する方針を決定したことから、アウトカム指標（認知度）については効果測定を行っていない。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	令和5年度の総会で解散する予定。今後は、取り組むテーマに合わせ、必要なメンバーが集い、連携・協力していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 913

事務事業名称	観光交流課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営業務(部取りまとめなど総務担当課事務、都市競艇関係事務、国際化施策関係事務など)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.22
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.46
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,693	9,743	9,531		
	会計年度任用職員	971	936	972		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,664	10,679	10,503		
	物件費計	420	2,384	544	910	59.8%
	歳出計	10,084	13,063	11,047		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	420	2,384	544	910	

5. 総括的分析

総括的分析	課の一般事務、総務担当課としての事務のほか、都市競艇関係事務を実施した。
-------	--------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き課の運営が円滑に行われるよう努める。